

わ

く

わ

く

1月号



本だな

1 2 3 年



E 『まめつぶこぞうパトゥフェ』

スペイン・カタルーニャのむかしばなし』

宇野和美／文 ささめやゆき／絵 BL出版

パトゥフェはまめつぶほどの小さな男の子。おつかいにいたり、お父さんにべんとうをとどけたり、やってみたいことがいっぱいです。あるとき雨をよけようとキャベツの下にもぐりこみますが、はっばといっしょに牛にたべられてしまいました。

えほん

K913 『つきーとカーコのけんか』

おくはらゆめ／作 佼成出版社

ねこのつきーとからすのカーコは、いつもいっしょです。

今日は、ばばぬきをすることにしました。でも、さむくてこたつから出たくありません。どちらがたなからトランプをとってくるかでけんかになり、ぎゅうぎゅうおしあいがはじまりました。

ものがたり



K913 『^{まじよ}魔女ののろいアメ』

草野あきこ／作 ひがしちから／絵 PHP 研究所

サキは、まじよの屋台でのろいアメを買いました。悪口を10こいいながらかきまぜたアメは、あまりにもまずく食べた人が1日中きぜつするそうです。サキは、おねえちゃんの悪口をいいながらかきまぜることにしました。

ものがたり

E 『みずとはなんじゃ?』

かこさとし／作 鈴木まもる／絵 小峰書店

人の体のはんぶんいじょうは、水でできています。水は、体のすみずみまでえいようをはこんだり、いらなくなったものを外に出したりして、びょうきをふせぐはたらきをします。また、空気の中をただよう水のつぶは、地球を^{ちきゅう}あつさやさむさから守っています。

ちしきのほん



としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね! <編集・発行> 富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200

わ く わ く

1月号



本 だ な

4 5 6 年



物語

K913 『 ぼくのジユウな字 』

春間美幸／作 黒須高嶺／絵 講談社

タツヒコは、テストの名前らんに鷹野龍彦と書くのがめんど
うで、最初と最後の文字を取って「タコ」と記入しました。お
母さんは怒って、タツヒコを書道教室に行かせます。

書道教室でできとくに字を書いていたら、先生がタツヒコの
右手に〈字由〉と書きました。すると、タツヒコの字が勝手に
変わったり、消えたりするようになったのです。

物語

K933 『 ソロモンの白いキツネ 』

ジャッキー・モリス／作 千葉茂樹／訳 あすなろ書房

母が死んで、シアトルに引っ越したソロモンは、学校でいじめ
にあいますが、いそがしい父は話を聞いてくれません。

そんなとき波止場にとつぜん白いホッキョクギツネがあらわ
れます。ひとりぼっちのキツネに自分を重ねたソロモンは、毎晩
見に行くようになります。ソロモンは父に、野生のキツネを森に
返すため、ふるさとのアラスカへ行きたいとうったえました。



ちしきの本

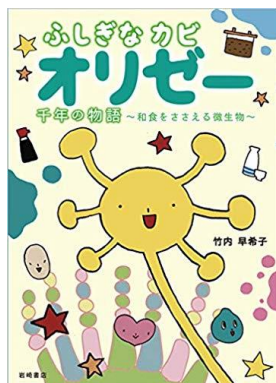
K588 『 ふしぎなカビ オリゼー 』

千年の物語 『 和食をささえる微生物 』

竹内早希子／著 岩崎書店

大きさ約0.01mmのオリゼーは、大豆や小麦を麴に変えるふしぎ
なカビです。

室町時代には、オリゼーを育てるための専門家・もやし屋が誕生
しました。地震や火災の被害を受けた伝統あるしょうゆ蔵や酒造の
復活には、もやし屋で保管されているオリゼーが必要でした。



図書館のまどぐちには、くみたとると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200